

第二次霧島市総合計画前期基本計画の成果指標・進捗管理表

2021年度時点目標達成率(◎数/(◎数+△数)) 30.6%

施策	①成果指標 (意図の達成度を表す指標)	②成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)	③2022年度の目標値設定の考え方	◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)						目標達成の方向性		
				単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		2022年度	
1-1地域経済を支える商工業の振興	A	商工業に活気があると思う市民の割合	市民意識調査	各基本事業を着実に実施し、商工業に活気があると思う市民の割合が46%になることを目指す。	%	成り行き値	36.0	36.5	37.0	37.5	38.0	更なる増加を目指します
						目標値	38.0	40.0	42.0	44.0	46.0	
						実績値					40.5	
						達成率					88%	
						結果					△	
B	市創業支援センターにおける創業相談件数	創業支援センターへの創業相談件数	創業に対する機運の醸成を図るとともに、継続した創業支援を展開することにより、2022(令和4)年度については年間60件の創業相談件数を目標とする。	件	成り行き値	40	40	40	40	40	更なる増加を目指します	
					目標値	55	60	60	60	60		
					実績値	48	62	37	16			
					達成率	87%	103%	62%	27%			
					結果	△	◎	△	△			
C	新規加入事業所数(商工会議所・商工会)	商工会議所及び商工会への加入状況調査	市内商工業者の持続的な経営安定や経営基盤の強化に資する各種支援を商工会議所、商工会と連携して行うことにより、商工業者の育成を図り、2018(平成30)年度は125事業者を目標とし、毎年5事業者ずつの新規会員増加を目指す。	事業所	成り行き値	110	110	110	110	110	更なる増加を目指します	
					目標値	125	130	135	140	145		
					実績値	134	113	150	96			
					達成率	107%	87%	111%	69%			
					結果	◎	△	◎	△			
D	霧島ブランド認定件数	霧島市で生産された農林水産物や加工品、土産品、取組、活動について認定制度に基づく申請受付と審査を行い、霧島ブランドとして認定された数を実績とする。	2018(平成30)年度は初年度であることから12件を目標値とし、毎年18件を認定することを目指す。	件	成り行き値	0	0	0	0	0	更なる増加を目指します	
					目標値	12	18	18	18	18		
					実績値	38	11	15	34			
					達成率	317%	61%	83%	189%			
					結果	◎	△	△	◎			
E	空き店舗率	商工会議所及び商工会による空き店舗状況調査結果	遊休不動産の有効活用を促進し、商業の集積を図ることにより、2018(平成30)年度は空き店舗率19%を目標値とし、毎年1%ずつの減少を目指す。	%	成り行き値	23.0	24.0	25.0	25.0	25.0	更なる減少を目指します	
					目標値	19.0	18.0	17.0	16.0	15.0		
					実績値	22.7	23.0	24.2	23.1			
					達成率	81%	72%	58%	56%			
					結果	△	△	△	△			
1-2強みを生かした企業誘致と雇用の促進	A	誘致企業の雇用者数	市内に立地した誘致企業の従業員数(毎年度4月1日現在で実態調査)	企業誘致は経済情勢に左右されるが、関係機関と連携を図り、積極的な企業誘致活動を展開し、雇用の確保に努めることにより、年100人ずつの増加を目指す。	人	成り行き値	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	更なる増加を目指します
						目標値	10,600	10,700	10,800	10,900	11,000	
						実績値	11,171	11,408	11,203	11,038		
						達成率	105%	107%	104%	101%		
						結果	◎	◎	◎	◎		
B	立地協定締結件数(増設を含む)	当該年度に市が立地協定を締結した件数	世界に誇れる企業や高い技術力をもつ先端企業が立地しているなど本市の優位性を最大限に生かし、年4件の締結を目指す。	件	成り行き値	1	1	1	1	1	更なる増加を目指します	
					目標値	4	4	4	4	4		
					実績値	2	7	8	6			
					達成率	50%	175%	200%	150%			
					結果	△	◎	◎	◎			
C	高校卒業時の地元就職率	当該年度の卒業生市内就職者数/就職者数	対象の高校生は毎年変わることから、学生就職支援プロジェクトの取組を継続し、充実させることで、2018(平成30)年度実績値の維持・向上を目指す。	%	成り行き値	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	更なる増加を目指します	
					目標値	32.5	35.0	35.0	35.0	35.0		
					実績値	36.9	34.3	31.1	34.2			
					達成率	114%	98%	89%	98%			
					結果	◎	△	△	△			
D	大学卒業時の地元就職率	当該年度の卒業生市内就職者数/就職者数 ※大学生には、専門学校生、鹿児島工業高等専門学校生を含む	対象の大学生は毎年変わることから、学生就職支援プロジェクトの取組を継続し、充実させることで、2018(平成30)年度実績値の維持・向上を目指す。	%	成り行き値	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0	更なる増加を目指します	
					目標値	18.5	23.0	23.0	23.0	23.0		
					実績値	9.0	11.8	7.6	12.7			
					達成率	49%	51%	33%	55%			
					結果	△	△	△	△			
1-3活力ある農・林・水産業の振興	A	農林水産業に活気があると思う市民の割合	市民意識調査	消費者ニーズにあった産品が、物産館や市内店舗等で広く販売されにぎわうことにより、市民に広く認知されることを目指す。	%	成り行き値	23.8	23.8	23.8	23.8	23.8	更なる増加を目指します
						目標値	25.1	26.5	27.9	29.2	30.6	
						実績値					33.6	
						達成率					110%	
						結果					◎	
B	農業粗生産額	農林水産省「市町村別農業産出額(推計)」(N-1年度)	生産基盤の整備や農地の集約を図りながら、より付加価値の高い農産物の生産を支援するとともに、6次産業化の推進等に努め、生産性の向上を目指すこととし、年217億円を目標値とする。	百万円	成り行き値	21,266.0	20,841.0	20,424.0	20,015.0	19,615.0	減少の抑制を目指します	
					目標値	21,700.0	21,700.0	21,700.0	21,700.0	21,700.0		
					実績値	21,940.0	22,120.0	22,150.0	21,220.0			
					達成率	101%	102%	102%	98%			
					結果	◎	◎	◎	△			
C	林業生産額	「市町村所得推計報告」の産業別市民総生産(N-1年度)	林道等の路網の整備を図り、高性能林業機械導入を支援し、作業の低コスト化や若手労働力の確保に努め、生産性の向上を目指すこととし、年8億8000万円を目標値とする。	百万円	成り行き値	850.0	820.0	790.0	760.0	730.0	減少の抑制を目指します	
					目標値	880.0	880.0	880.0	880.0	880.0		
					実績値	830.0	852.0	1,071.0	R6.6確定			
					達成率	94%	97%	122%				
					結果	△	△	◎				
D	水産業生産額	「市町村所得推計報告」の産業別市民総生産(N-1年度)	「作り育てる」漁業の確立に努め、稚魚等の放流、漁場の整備等を支援し、生産性の向上を目指すこととし、年1億5000万円を目標値とする。	百万円	成り行き値	135.0	130.0	125.0	120.0	115.0	減少の抑制を目指します	
					目標値	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0		
					実績値	222.0	171.0	140.0	R6.6確定			
					達成率	148%	114%	93%				
					結果	◎	◎	△				
E	新規就農者数	始良・伊佐地域振興局で把握した新規就農者数	農業従事者の高齢化や後継者不足、農業就業人口の減少など担い手不足であることから、新規就農者増を目指す。	人	成り行き値	9	9	9	9	9	更なる増加を目指します	
					目標値	10	10	10	10	10		
					実績値	17	11	10	5			
					達成率	170%	110%	100%	50%			
					結果	◎	◎	◎	△			
1-4地域特性を活かした観光の推進	A	霧島市の観光に対する満足度	観光総合戦略策定時に、「霧島市観光動向調査」を実施し、現状値を把握。次期、観光総合戦略策定時(2022(令和4)年度)、再度調査を実施し、実績値を把握予定。	2017(平成29)年度の霧島市観光動向調査の「霧島市観光に対する満足度」の56%を基準として、5年間でプラス5ポイントの61%とする。	%	成り行き値	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0	更なる増加を目指します
						目標値	57.0	58.0	59.0	60.0	61.0	
						実績値						
						達成率						
						結果						
B	観光消費額	観光客一人当たりの消費額×観光客数(宿泊+日帰り) ※観光客一人当たりの消費額とは:観光客数に消費額単価(宿泊29,000円、日帰り6,000円)を乗じた額。	2017(平成29)年の観光消費額目標669億5800万円を基準として、5年間でプラス34億1500万円の703億7300万円とする。	百万円	成り行き値	66,717.0	66,717.0	66,717.0	66,717.0	66,717.0	更なる増加を目指します	
					目標値	67,627.0	68,303.0	68,987.0	69,677.0	70,373.0		
					実績値	66,395.7	65,470.0	44,794.8	39,420.8			
					達成率	98%	96%	65%	57%			
					結果	△	△	△	△			
C	観光客数(宿泊+日帰り)	暦年(1月~12月)での実態を把握。 ※観光施設、ホテル、旅館等宿泊施設からの取得データ。	霧島市観光統計における観光客数(宿泊+日帰り)2017(平成29)年の目標値764万3600人を基準として、5年間でプラス38万9900人とする。	人	成り行き値	7,567,900	7,567,900	7,567,900	7,567,900	7,567,900	更なる増加を目指します	
					目標値	7,720,000	7,797,200	7,875,200	7,954,000	8,033,500		
					実績値	7,606,885	7,489,312	5,178,046	4,491,954			
					達成率	99%	96%	66%	56%			
					結果	△	△	△	△			
D	外国人宿泊客数	暦年(1月~12月)での実態を把握。 ※ホテル、旅館等宿泊施設からの取得データ。	霧島市観光統計における外国人宿泊客数の2017(平成29)年の目標値12万2000人を基準として、5年間でプラス7万4500人とする。	人	成り行き値	110,900	110,900	110,900	110,900	110,900	更なる増加を目指します	
					目標値	134,200	147,620	162,382	178,620	196,500		
					実績値	138,838	125,995	17,408	1,179			
					達成率	103%	85%	11%	1%			
					結果	◎	△	△	△			
E	開発又は磨き上げた観光資源の数(累計)	年度(4月~3月)での実態を把握	2017(平成29)年度目標値の45本を基準として毎年2本ずつの増加を目指す、5年間でプラス10本とする。	本	成り行き値	43	43	43	43	43	更なる増加を目指します	
					目標値	47	49	51	53	55		
					実績値	51	53	53	55			
					達成率	109%	108%	104%	104%			
					結果	◎	◎	◎	◎			

第二次霧島市総合計画前期基本計画の成果指標・進捗管理表

2021年度時点目標達成率(◎数/(◎数+△数)) 30.6%

施策	①成果指標 (意図の達成度を表す指標)	② 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)	③ 2022年度の目標値設定の考え方	◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性			
				単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度	
1-5持続可能な地域公共交通ネットワークの構築	A	日常生活で移動に不便を感じている市民の割合	市民意識調査	2017(平成29)年度の現状値41.5%を基に、更なる改善を目指すこととし、2022(令和4)年度の目標値を38%とする。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	41.5 41.0 39.5 97% △	41.5 39.0 38.5 97% △	41.5 38.5 38.0 97% △	41.5 38.5 39.2 97% △	41.5 38.0 39.2 97% △	更なる減少を目指します
	B	肥薩線(吉松～隼人)の平均通過人員(人/日)	JR九州が、毎年度7月に前年度実績値をホームページで公表する。	2018(平成30)年度の現状値656人を基に、さらなる改善を目指すこととし、2022(令和4)年度の目標値を660人とする。	人	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	656.0 656.0 605.0 100% ◎	649.0 657.0 605.0 92% △	643.0 658.0 480.0 73% △	637.0 659.0 518.0 79% △	631.0 660.0 518.0 79% △	更なる増加を目指します
	C	日豊本線(都城～国分)の平均通過人員(人/日)	JR九州が、毎年度7月に前年度実績値をホームページで公表する。	2018(平成30)年度の現状値1,438人を基に、さらなる改善を目指すこととし、2022(令和4)年度の目標値を1,480人とする。	人	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	1,438.0 1,438.0 1,389.0 100% ◎	1,424.0 1,448.0 1,389.0 96% △	1,410.0 1,458.0 728.0 50% △	1,396.0 1,468.0 830.0 57% △	1,382.0 1,480.0 830.0 57% △	更なる増加を目指します
	D	ふれあいバスの1便当たりの利用者数	ふれあいバス利用者数/運行便数。翌年度5月頃把握予定。	成り行き値は、微増傾向であり、2022(令和4)年度の成り行き値4.5人を基に、更なる改善を目指すこととし、毎年度5人を目標値とする。	人	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	4.1 5.0 3.8 76% △	4.2 5.0 3.3 66% △	4.3 5.0 3.0 60% △	4.4 5.0 2.7 54% △	4.5 5.0 2.7 54% △	更なる増加を目指します
	E	市が運行主体である循環バス・観光バスの1便当たりの利用者数	循環・観光バス利用者数/運行便数。翌年度5月頃把握予定。	成り行き値は、微増傾向であり、2022(令和4)年度の成り行き値10.2人を基に、更なる改善を目指すこととし、毎年度11人を目標値とする。	人	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	9.6 11.0 5.2 47% △	9.8 11.0 5.0 45% △	9.9 11.0 3.6 33% △	10.1 11.0 3.7 34% △	10.2 11.0 3.7 34% △	更なる増加を目指します
2-1人と自然が共生し快適で良質な生活環境の形成	A	自然環境が保全されていると感じる市民の割合	市民意識調査	市民意識調査(2008(平成20)年度)によると80.3%になっていたが、過去5年間の調査ではすべて80%を下回るとともに、2017(平成29)年度には71.4%にまで低下している。自然保護に関する各種取組を充実することで、2008(平成20)年度と同程度の80%の成果達成を目指す。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	71.4 74.0 76.0 91% △	71.4 76.0 78.0 91% △	71.4 79.0 72.6 91% △	71.4 80.0 72.6 91% △	71.4 80.0 72.6 91% △	更なる増加を目指します
	B	生活環境が向上していると感じる市民の割合	市民意識調査	市民意識調査(2012(平成24)年度)によると38.1%になっていたが、2017(平成29)年度には26.8%にまで低下している。アダプト(里親)制度をはじめ、市民や市民団体等との協働による取組を更に充実することにより、2012(平成24)年度より10%の成果向上を目指し、48%を目標値とする。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	26.8 40.0 42.0 57% △	26.8 42.0 44.0 57% △	26.8 44.0 46.0 57% △	26.8 46.0 48.0 57% △	26.8 48.0 46.0 57% △	更なる増加を目指します
	C	1～15年生(3歳級以下)の森林面積	始良・伊佐地域振興局からのデータ提供(8月頃)。	民有林においては、適正な森林管理を推進するため、伐採後の再造林を推進するとともに、森林所有者の負担軽減のため、再造林や下刈への支援を行い、市有林においては、市有林の資源の循環利用、再造林の低コスト化の促進を図るため、伐採、再造林の一貫作業に取り組むこと、485haを目標値とする。	ha	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	380.0 405.0 986.9 244% ◎	375.0 425.0 924.7 218% ◎	370.0 445.0 850.0 191% ◎	365.0 465.0 1,585.6 341% ◎	360.0 485.0 1,585.6 341% ◎	更なる増加を目指します
	D	環境基準達成率	環境基本法第16条の規定に基づき人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として環境省が告示している物質で継続して霧島市内で観測している9つの大気物質の調査項目(9項目)として、市で毎年度市内61箇所の河川で実施している水質観測のうち5つの物質に係る調査項目(61箇所×5項目=305項目)、この2分野の合計項目(9項目+305項目=314項目)のうち、基準を達成した項目が占める割合(%)を把握する。	河川水質のうち大腸菌は測定基準を変更したため、環境基準の達成が非常に困難となっている。大気のうち光化学オキシダントは中国大陸からの飛来物質の影響により、ここ数年環境基準を達成することがない。これらのことから、水質は4/5項目を、大気は9/10項目の基準達成を目指し、80%(253項目/315項目)を目標値とする。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	74.1 76.1 76.2 100% ◎	74.1 77.1 75.6 98% △	74.1 78.1 74.4 95% △	74.1 79.1 75.1 95% △	74.1 80.0 75.1 95% △	更なる増加を目指します
	E	海域の環境基準(COD)達成地点数	県・市が実施する測定調査の結果から、海域の水質汚濁の指標であるCODの基準達成状況を把握する。	錦江湾で測定している4地点で環境基準を達成することを目標とする。	地点	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	3 3 3 100% ◎	3 3 3 100% ◎	3 3 2 67% △	3 3 3 100% ◎	3 4 3 100% ◎	更なる増加を目指します
2-2地球にやさしい循環型社会の形成	A	日頃からごみを減らすようにしている市民の割合	市民意識調査	「日頃からごみを減らすようにしている市民の割合」については、市民意識調査(2017(平成29)年度)によると70.8%となっている。一方、「あまり取組んでいない市民の割合」が22.5%となっていることから、4Rの普及促進を図ることにより、この割合を改善することを目指し、85%を目標値とする。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	79.0 80.0 81.2 89% △	79.0 81.2 82.5 89% △	79.0 82.5 83.7 89% △	79.0 83.7 75.3 89% △	79.0 85.0 75.3 89% △	更なる増加を目指します
	B	市民一人1日当たりの家庭系ごみの排出量	市又は市が処分委託するごみの処理施設に搬入されたごみの量から算出(環境省実施の廃棄物処理事業実態調査)。可燃ごみ、不燃・粗大ごみ、資源ごみの合計を人口及び年間日数で除して算出。	2018年度は「霧島市ごみ減量化・資源化基本方針」の具体的取組を新たに策定し公表した。今後さらなる4Rや生ごみ3リ運動の実践、食品ロス削減への取組で620g/人/日を目標値とする。	g/人日	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	633.0 630.0 629.0 100% ◎	633.0 625.0 630.9 99% △	633.0 624.0 651.7 96% △	633.0 622.0 636.9 98% △	633.0 620.0 636.9 98% △	更なる減少を目指します
	C	リサイクル率	資源化量を可燃ごみ、不燃・粗大ごみ、資源ごみの合計で除して算出(環境省実施の廃棄物処理事業実態調査)	「リサイクル率」については、2018(平成30)年度は17.6%であり、全国の平均20.2%を下回っている状況にあることから、県の2022(令和2)年度の目標値である21.0%を目標値とする。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	18.1 19.5 17.6 90% △	17.6 19.5 16.6 85% △	17.5 20.0 17.8 89% △	17.5 20.5 16.7 81% △	17.4 21.0 16.7 81% △	更なる増加を目指します
	D	再生可能エネルギー導入容量	資源エネルギー庁が公表する実績値(年度末実績値は、翌年度7月末頃に公表されるため、前年12月末時点の実績を使用)	霧島市再生可能エネルギー発電設備の設置に関するガイドラインに基づき、事業計画の届出があったもの、及び事業計画の届出に至っていても、国から事業計画が認定され、市が相談を受けている案件等についても加算し、392,399kwを目標値とする。	kW	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	317,112 317,141 306,787 97% △	329,504 353,072 323,101 92% △	329,504 357,530 332,979 93% △	350,504 364,579 341,669 94% △	350,504 392,399 341,669 94% △	更なる増加を目指します
	E	市の事務事業に由来する温室効果ガス排出量	エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づき報告する数値を使用し、数値はエコオフィスプラン支援システムに各施設の電気やガス使用量、公用車の給油量や走行距離を入力し算出する。	庁舎内の省エネ対策のより一層の推進や、市内のごみの発生抑制の取組などにより、温室効果ガスの排出量の目標値を第三次霧島市地球温暖化対策実行計画で掲げた対2013(平成25)年度比14%減の36,735t-CO2を目標値とする。	t-CO2	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	42,540.68 41,349.0 44,833.7 92% △	42,540.68 40,191.0 42,755.4 94% △	42,540.68 39,065.0 42,150.4 92% △	42,540.68 37,971.0 41,576.6 91% △	42,540.68 36,735.0 41,576.6 91% △	更なる減少を目指します
2-3快適生活の基盤づくりの推進	A	ゆとりある住みやすいまちであると感じている市民の割合	市民意識調査	今後5年間で生活基盤の推進が図られ、市民の快適さや暮らしやすさが向上すると考えられることから、60%を目標値とする。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	56.5 57.4 58.1 108% ◎	55.6 58.1 58.7 108% ◎	54.8 58.7 59.4 108% ◎	53.9 59.4 64.7 108% ◎	53.1 60.0 64.7 108% ◎	更なる増加を目指します
	B	市道の改良率(規格改良済/実延長)	道路現況調査、道路現況台帳	計画的に道路整備を進めていくが、厳しい財政状況等を考慮しつつ、毎年度約0.1%の改良を目指す。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	47.4 47.5 47.9 101% ◎	47.4 47.7 48.1 101% ◎	47.4 47.8 48.2 101% ◎	47.4 47.9 48.3 101% ◎	47.4 48.0 48.3 101% ◎	更なる増加を目指します
	C	水洗化率(水洗化[接続]人口/供用開始区域人口)	毎年度末、下水道接続の状況から水洗化率を算出(下水道工務課)。	2016(平成28)年度を基準とし、5年間で毎年1%の伸びを成り行き値とし、他の水洗化率向上の事業によって得られる見込みの0.5%を上乗せした値を目標値とする。※2020(令和2)年度に全体計画区域等の見直し(区域の廃止、追加)を行い、水洗化率を精査した結果、実績値が85.0%となった。整備完了予定年度(2040(令和22)年度)の目標値を90.0%とし、2020(令和2)年度の実績値85.0%を基準に、成り行き値の伸びをプラス0.2%、目標値の伸びをプラス0.25%に見直した。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	84.1 84.6 84.0 99% △	85.1 85.6 86.5 101% ◎	86.1 86.6 85.0 98% △	85.2 85.3 85.3 100% ◎	85.4 85.5 85.3 100% ◎	更なる増加を目指します
	D	超高速ブロードバンド整備率	超高速ブロードバンド環境が整備済である地域(自治会ベース)の世帯数を市全世帯数で除した割合	霧島市ブロードバンド整備計画に基づき、2021(令和3)年度までに超高速ブロードバンド整備地域への基盤整備を行うことになり、光ファイバーによるインターネット環境を必要としない場所等もあり得ることから、整備率の目標値を92%とする。	%	成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果	80.4 80.4 81.2 101% ◎	80.4 83.0 87.2 105% ◎	80.4 86.0 89.6 104% ◎	80.4 89.0 94.6 106% ◎	80.4 92.0 94.6 106% ◎	更なる増加を目指します

第二次霧島市総合計画前期基本計画の成果指標・進捗管理表

2021年度時点目標達成率(◎数/(◎数+△数)) 30.6%

施策	①成果指標 (意図の達成度を表す指標)	②成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)	③2022年度の目標値設定の考え方	◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性		
				単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
E	耐震化率(水道管)	耐震化済である水道管の割合(水道工務課)	水道管の総延長は約1,400kmであり、総延長の1%にあたる14kmを毎年の更新工事の目標値とし、耐震化率の向上を目指す。	成り行き値		24.0	24.0	24.0	24.0	24.0	更なる増加を目指します
				目標値		25.6	26.6	27.6	28.6	29.6	
				実績値		25.5	26.2	26.7	27.2		
				達成率		100%	98%	97%	95%		
				結果		◎	△	△	△		
A	地域に合った景観整備がなされ、街並みが良好だと感じる市民の割合	市民意識調査	第一次総合計画の実績値等を考慮し、50%を目標値とする。	成り行き値		40.6	40.6	40.6	40.6	40.6	更なる増加を目指します
				目標値		42.0	44.0	46.0	48.0	50.0	
				実績値						47.7	
				達成率						95%	
				結果						△	
B	地域に合わせた土地利用がなされ秩序ある開発が行われていると考える市民の割合	市民意識調査	第一次総合計画の実績値等を考慮し、45%を目標値とする。	成り行き値		28.9	28.9	28.9	28.9	28.9	更なる増加を目指します
				目標値		40.0	40.0	40.0	45.0	45.0	
				実績値						35.0	
				達成率						78%	
				結果						△	
C	空き家の利活用件数	空き家バンクによる成立件数	空き家バンクを活用し、年間5件の空き家の成約を目指す。	成り行き値		2	2	2	2	2	更なる増加を目指します
				目標値		5	5	5	5	5	
				実績値		12	16	22	16		
				達成率		240%	320%	440%	320%		
				結果		◎	◎	◎	◎		
D	都市公園内の更新及び新設した施設数(累計)	建設施設管理課決算データ(累計)	財政状況等を考慮し年間2件の更新・新設を行い、累計12件を目標値とする。	成り行き値		4	2	1	1	1	更なる増加を目指します
				目標値		4	6	8	10	12	
				実績値		8	13	15	17		
				達成率		200%	217%	188%	170%		
				結果		◎	◎	◎	◎		
A	防災に対する何らかの取組を行った市民の割合	市民意識調査	2017(平成29)年度市民意識調査において実績値が72.4%であったが、市民に対し防災意識の向上や啓発活動を行っていったことから、目標値は熊本地震の影響で高水準であった2016(平成28)年度の実績値である86.1%とする。	成り行き値		72.4	72.4	72.4	72.4	72.4	更なる増加を目指します
				目標値		75.1	77.8	80.5	83.2	86.1	
				実績値						80.1	
				達成率						93%	
				結果						△	
B	災害時の避難先を知っている市民の割合	市民意識調査	2017(平成29)年度市民意識調査において実績値が80.0%と比較的高いが、最終目標は100%である。ただし、これまでも防災出前講座や自主防災組織避難訓練の支援などを実施しており、今後飛躍的な向上は望めないことから毎年1%ずつの向上を目指し、2022(令和4)年度目標値を85.0%とする。	成り行き値		80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	更なる増加を目指します
				目標値		81.0	82.0	83.0	84.0	85.0	
				実績値						79.3	
				達成率						93%	
				結果						△	
C	救命講習等を受講した市民の割合	救命講習等を受講した市民/中学生以上の市民	少しでも多くの方に救命の連鎖の必要性を訴えることが重要であることから、上級救命講習回数を増やすなど対応を行った。加えて、消防一般業務の中で市民へ普及啓発活動を行うなど、受講者数増加に向けて積極的な取り組みを行うことから、2018(平成30)年度は救命講習受講者を前年度比1,000人増を目指し、目標値を8.4%とした。以降、毎年0.15%ずつの向上を目指し、2022(令和4)年度目標値を9.0%とする。	成り行き値		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	更なる増加を目指します
				目標値		8.4	8.5	8.7	8.8	9.0	
				実績値		8.4	7.9	2.1	1.8		
				達成率		100%	93%	24%	20%		
				結果		◎	△	△	△		
D	火災の年間発生件数(5年間の平均)	火災の年間発生件数(5年間の平均)1月～12月までの件数を翌年1月に集計	2014(平成26)年から2017(平成29)年までの4年間の平均が54.5件であったことから2018(平成30)年度目標を54.0件とした。火災予防広報活動の積極的な推進や、消防法の改正で一般住宅に設置が義務付けられた住宅用火災警報器の普及促進を図ることで毎年1件分の削減を目指し、2022(令和4)年度目標値を50.0件とする。	成り行き値		57	57	57	57	57	更なる減少を目指します
				目標値		54	53	52	51	50	
				実績値		56	51	47	48		
				達成率		96%	103%	109%	105%		
				結果		△	◎	◎	◎		
A	「安心・安全に生活できる」と感じる市民の割合	市民意識調査	市民意識調査(2017(平成29)年度)によると50.8%であったことから、地域の防犯力の強化と環境整備に努めることで、毎年度約2%の成果向上を目指す。	成り行き値		50.8	50.8	50.8	50.8	50.8	更なる増加を目指します
				目標値		52.0	54.0	56.0	58.0	60.0	
				実績値						54.8	
				達成率						91%	
				結果						△	
B	霧島市消費生活センターの認知度	市民意識調査	情報提供や啓発活動を継続して行うことで、毎年度約1%の成果向上を目指す。	成り行き値		48.8	48.8	48.8	48.8	48.8	更なる増加を目指します
				目標値		50.8	51.8	52.8	53.8	54.8	
				実績値						47.0	
				達成率						86%	
				結果						△	
C	交通事故発生件数(人身・暦年)	鹿児島県警察本部が公表している「交通統計」(年度ではなく年単位の数値。)	「霧島市交通安全計画」において2015(平成27)年の764件を踏まえ、発生件数を700件以下に設定しているため、これに準じた目標値を設定する。	成り行き値		730	730	730	730	730	更なる減少を目指します
				目標値		726	713	700	687	674	
				実績値		647	696	600	510		
				達成率		111%	102%	114%	126%		
				結果		◎	◎	◎	◎		
D	刑法犯罪認知件数(暦年)	鹿児島県警察本部が公表している「鹿児島県の犯罪」及び「市町村別の犯罪発生実態」より把握(年度ではなく年単位の数値。)	県内犯罪率ワースト1位(2004(平成16)年度)を契機とする市民の防犯意識の高まりを継続させ、更なる啓発活動に努めることで、2015(平成27)年度実績値の741件から41件の減少を目指す。	成り行き値		740	740	740	740	740	更なる減少を目指します
				目標値		726	719	712	706	700	
				実績値		582	463	415	369		
				達成率		120%	136%	142%	148%		
				結果		◎	◎	◎	◎		
E	高齢者運転免許自主返納者数	鹿児島県警察本部が公表している免許返納者数の霧島市民の件数	全国で高齢ドライバーによる重大事故が相次ぎ、返納に対する関心が高まっていることから2016(平成28)年度実績値の392件から28件の増加を目指す。	成り行き値		300	300	300	300	300	更なる増加を目指します
				目標値		400	400	420	420	420	
				実績値		437	603	428	406		
				達成率		109%	151%	102%	97%		
				結果		◎	◎	◎	△		
A	健康づくりの支援や医療体制が充実していると感じる市民の割合	市民意識調査	本市の健康増進計画である「健康きりしま21」を計画的に推進することにより、「健康づくりの支援や医療体制が充実していると感じる市民の割合」が増加することを見込み、0.5%ずつの増加を目指す。	成り行き値		52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	更なる増加を目指します
				目標値		52.6	53.1	53.6	54.1	54.6	
				実績値						57.3	
				達成率						105%	
				結果						◎	
B	心身共に健康であると感じている市民の割合	市民意識調査	これまでの市民意識調査の回答割合が毎年度平均1.2ポイントずつ増加した経緯があり、今後も健康きりしま21(第3次)等に基づき各種事業を実施することから、毎年1%程度の増加を目指す。	成り行き値		65.6	65.6	65.6	65.6	65.6	更なる増加を目指します
				目標値		70.3	71.3	72.3	72.4	73.4	
				実績値						66.0	
				達成率						90%	
				結果						△	
C	人工透析の新規導入者数(人口10万人当たり)	慢性腎不全等による新規身体障害者手帳取得者数	人工透析にいたるCKD(慢性腎不全)は自覚症状がなく、早期発見し治療につなげるよう、CKD予防ネットワークで取り組んでいるが、人工透析を受ける者は年々増加傾向にあることから、国の健康日本21(第2次)に準じて、目標値を14.3人とする。	成り行き値		33.0	33.0	33.0	33.0	33.0	更なる減少を目指します
				目標値		14.9	14.7	14.6	14.4	14.3	
				実績値		32.9	34.6	41.2	29.3		
				達成率		-	-	-	-		
				結果		△	△	△	△		
D	予防接種率	予防接種実施状況調査	疾病の感染を防ぐには、95%の予防接種率が必要であるという国の目標値にあわせ、感染症の蔓延予防のために未接種者に接種、毎年度勧奨を行うことなどにより毎年度0.2%ずつの増加を目指す。	成り行き値		94.3	94.3	94.3	94.3	94.3	更なる増加を目指します
				目標値		94.7	94.9	95.1	95.3	95.5	
				実績値		93.8	91.8	98.5	93.2		
				達成率		99%	97%	104%	98%		
				結果		△	△	◎	△		
E	自殺死亡率(人口10万人あたり)	厚生労働省統計資料による自殺者数	自殺死亡率は国・県より低い状況ではあるが、「自殺は追い込まれた末の死」であるため、自殺対策を総合的かつ効果的に推進し、国の2026(令和8)年までに2015(平成27)年と比べて30%以上減少するという目標に準じて、目標値を14.1人とする。	成り行き値		15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	更なる減少を目指します
				目標値		15.2	15.0	14.7	14.4	14.1	
				実績値		16.6	25.4	19.1	18.4		
				達成率		91%	31%	70%	72%		
				結果		△	△	△	△		

第二次霧島市総合計画前期基本計画の成果指標・進捗管理表

2021年度時点目標達成率(◎数/(◎数+△数)) 30.6%

施策	①成果指標 (意図の達成度を表す指標)	②成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)	③2022年度の目標値設定の考え方	◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性		
				単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
3-2安心して子どもを産み育てられる環境の充実	A 妊娠・出産について満足している市民の割合	健やか親子21指標に関する調査(3~4か月児健診)より把握	国の「健やか親子21(第2次計画)」と同じ目標値を目指す。	%	成り行き値	80.1	80.1	80.1	80.1	80.1	更なる増加を目指します
					目標値	81.6	82.4	83.3	84.2	85.0	
					実績値	85.4	90.5	91.1	93.0		
					達成率	105%	110%	109%	110%		
B 18歳以下の児童数(3月31日現在/年)	住民基本台帳からの抽出	子育てに幸せや楽しさを実感できる環境整備を推進することにより、若い世代に「霧島市に住みたい、霧島市で子育てをしたい」と感じてもらうことと、移住・定住化の促進や出生率の向上につながることから、毎年度約70人の増加を目指す。	%	成り行き値	23,523	23,523	23,523	23,523	23,523	更なる増加を目指します	
				目標値	24,221	24,290	24,360	24,430	24,500		
				実績値	23,523	23,202	22,879	22,768			
				達成率	97%	96%	94%	93%			
C 乳幼児健診受診率	3~4か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診の平均受診率	妊娠前から乳幼児期まで切れ目のない支援体制の充実を図ることにより、2016(平成28)年実績値より、毎年度0.1ポイントの成果向上を目指す。	%	成り行き値	96.1	96.1	96.1	96.1	96.1	更なる増加を目指します	
				目標値	96.3	96.4	96.5	96.6	96.7		
				実績値	96.4	96.7	97.5	97.2			
				達成率	100%	100%	101%	101%			
D 合計特殊出生率	国の衛生統計年報より把握	霧島市ふるさと創生総合戦略及びふるさと創生人口ビジョンに基づき、2022(令和4)年度の目標値を1.84とする。	-	成り行き値	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	更なる増加を目指します	
				目標値	1.84	1.84	1.84	1.84	1.84		
				実績値	1.71	1.70	1.65	R4.12把握			
				達成率	93%	92%	90%	-			
3-3住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアの推進	A 心配事や愚痴を聞いてくれる人が「近隣」にいる高齢者の割合	高齢者実態調査(一般高齢者調査の「あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人」の設問に「近隣」と答えたサンプルの割合)	高齢者実態調査は3年置きに実施することから、3年ごとに2ポイントずつの増加を目指す。	%	成り行き値		17.3			17.3	更なる増加を目指します
					目標値		19.0			21.0	
					実績値		11.0			R5.3把握	
					達成率		58%				
B 地域のつながりがあると感じている高齢者の割合	高齢者実態調査(一般高齢者調査の「あなたのお住まいの地域には、地域のつながりがあると感じますか」の設問に「とても感じる」「少し感じる」と答えたサンプルの割合)	高齢者実態調査は3年置きに実施することから、3年ごとに2ポイントずつの増加を目指す。	%	成り行き値		63.6			63.6	更なる増加を目指します	
				目標値		66.0			68.0		
				実績値		57.6			R5.3把握		
				達成率		87%					
C 生きがいを十分・多少感じている高齢者の割合	高齢者実態調査(一般高齢者調査の「あなたは、生きがいをどの程度感じていますか」の設問に「十分感じている」「多少感じている」と答えたサンプルの割合)	高齢者実態調査は3年置きに実施することから、3年ごとに2ポイントずつの増加を目指す。	%	成り行き値		71.4			71.4	更なる増加を目指します	
				目標値		73.0			75.0		
				実績値		71.4			R5.3把握		
				達成率		98%					
D 自宅における死亡数の死亡総数に占める割合	厚生労働省 人口動態調査の「死亡」の(参考)死亡数、死亡の場所・都道府県・市区町村別から。(翌年の9月に確定。e-Statからダウンロード可能)	本市においては、2016(平成28)年は7.6%、2017(平成29)年は8.9%であり、鹿児島県の平均値9.0%を目標値とする。	%	成り行き値	8.0	8.1	8.2	8.3	8.4	更なる増加を目指します	
				目標値	8.0	8.3	8.6	8.8	9.0		
				実績値	7.6	9.2	9.2	9.4			
				達成率	95%	111%	107%	107%			
3-4共生社会実現に向けた障がい児(者)の支援	A 日頃の悩みや困り感を行政や相談支援事業所に相談する割合	障害福祉計画等の策定時アンケートにより測定	少なくとも3割以上が行政機関や相談支援事業所に相談することを目指すことから、35%を目標値とする。	%	成り行き値	10.3	10.3	10.3	10.3	10.3	更なる増加を目指します
					目標値					35.0	
					実績値					R6.3把握	
					達成率						
B 障がいがあることで嫌な思いをしたことがある障がい者の割合	障害福祉計画等の策定時アンケートにより測定	2017(平成29)年度の現状値40.3%に対し、5人に1人を目指すことから、20%を目標値とする。	%	成り行き値	40.3	40.3	40.3	40.3	40.3	更なる減少を目指します	
				目標値					20.0		
				実績値					R6.3把握		
				達成率							
C サービスを受けている障がい者の実人数	地域生活支援給付と自立支援給付の請求明細より測定	利用実績からの伸び率を勘案し、1,700人を目標値とする。	人	成り行き値	1,496	1,496	1,496	1,496	1,496	更なる増加を目指します	
				目標値	1,580	1,600	1,640	1,680	1,700		
				実績値	1,320	1,484	1,475	1,310			
				達成率	84%	93%	90%	78%			
D 障害児通所支援を利用している子どもの数	児童通所サービスの請求明細により測定	利用実績からの伸び率を勘案し、1,070人を目標値とする。	人	成り行き値	771	771	771	771	771	更なる増加を目指します	
				目標値	870	920	970	1,020	1,070		
				実績値	1,098	1,133	1,042	1,131			
				達成率	126%	123%	107%	111%			
3-5社会保障制度の円滑な運営	A 国民健康保険の被保険者一人当たりの医療諸費	医療諸費総額/国民健康保険被保険者数	過去の実績から、成り行き値では、1年間の医療費の上昇率が平均で4%であった。このため、目標値は成り行き値の半分、1年間の上昇率を2%に抑えることを目指す。	円	成り行き値	477,000	496,000	516,000	537,000	558,000	増加の抑制を目指します
					目標値	459,000	468,000	478,000	487,000	497,000	
					実績値	467,589	478,316	466,542	484,449		
					達成率	98%	98%	102%	101%		
B 人口(推計人口)1,000人当たりの生活保護受給者数	生活保護者数/推計人口×1,000	人口(推計人口)1,000人当たりの生活保護受給者数は増加傾向にあるが、就労支援等により増加の抑制を目指す。	人	成り行き値	14.8	15.2	15.5	15.8	16.1	増加の抑制を目指します	
				目標値	14.7	15.0	15.3	15.5	15.7		
				実績値	14.7	15.3	15.7	16.1			
				達成率	100%	98%	97%	96%			
C 介護保険第1号被保険者一人当たりの給付月額(本市平均-全国平均)	介護保険事業状況報告における介護保険第1号被保険者一人当たりの給付月額(本市平均との比較(本市平均-全国平均))	介護給付適正化事業を実施することにより、年々増加する保険給付費の抑制を図ることも目的として、毎年度2,000円の減少を目指す。	円	成り行き値	2,600	2,900	3,200	3,500	3,800	更なる減少を目指します	
				目標値	2,100	1,900	1,700	1,500	1,300		
				実績値	2,302	2,263	1,889	886			
				達成率	90%	81%	89%	141%			
D 就労等により自立した生活保護世帯数	就労等により自立した生活保護世帯数の実績値	就労支援等により、自立を促し、自立した保護世帯数の目標値を年間50世帯とする。	世帯	成り行き値	50	45	45	45	45	更なる増加を目指します	
				目標値	50	50	50	50	50		
				実績値	26	22	25	40			
				達成率	52%	44%	50%	80%			
4-1立志と将来への希望を育む学校教育の充実	A 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	全国学力、学習状況調査(質問紙調査)の、将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	全国学力、学習状況調査によると2017(平成29)年度は62.4%、2018(平成30)年度は61.0%である。キャリア教育の推進等の施策を通じて65.0%に高めていくようにする。	%	成り行き値	62.8	62.8	62.8	62.8	62.8	更なる増加を目指します
					目標値	63.0	64.0	64.0	65.0	65.0	
					実績値	61.0	59.2	78.8	53.7		
					達成率	97%	93%	123%	83%		
B 小・中学生のあいさつや交通ルールを守るマナーが、2、3年前と比べて良くなっていると思う市民の割合	市民意識調査	市民意識調査(2017(平成29)年度)によると47.8%の市民がマナーが良くなっていると回答していることから、学校教育や地域の教育力向上を通じて、各年度、2.5ポイント改善することを目指す。	%	成り行き値	47.8	47.8	47.8	47.8	47.8	更なる増加を目指します	
				目標値	50.3	52.8	55.3	57.8	60.3		
				実績値					49.6		
				達成率					82%		
C 学習定着度調査における平均正答率の県との比較	学習定着度調査における平均正答率の県との比較	2016(平成28)年度が△2.2ポイントだったことから、学力向上に向けた様々な対策を今後講じることで、2017(平成29)年度に△1.0ポイントを目指し、その後、各年度0.5ポイントの向上を目指す。	ポイント	成り行き値	-2.2	-2.2	-2.2	-2.2	-2.2	更なる増加を目指します	
				目標値	-0.5	0.0	0.5	1.0	1.5		
				実績値	-3.4	2.7	-2.7	-1.3			
				達成率	-	-	-	-			

第二次霧島市総合計画前期基本計画の成果指標・進捗管理表

2021年度時点目標達成率(◎数/(◎数+△数)) 30.6%

施策	①成果指標 (意図の達成度を表す指標)	②成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)	③2022年度の目標値設定の考え方	◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性		
				単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
D	規範意識の高い児童生徒の割合	全国学力、学習状況調査(質問紙調査)の、規範意識の高い児童生徒の割合	2016(平成28)年度の実績値62.5%を基に、児童生徒が規範意識や思いやりの心をもてるよう、2.5ポイント増の65.0%を目指す。	%	成り行き値	62.5	62.5	62.5	62.5	62.5	更なる増加を目指します
						目標値	63.0	64.0	64.0	65.0	
E	体力テスト(小・中学校)における平均値の県との比較	児童生徒体力・運動能力調査(小・中学校)における平均値の県との比較	2016(平成28)年度の実績値0.2ポイントを基に、学校体育の充実や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団活動及び部活動を活性化することによって、1.5ポイント増の1.7ポイントを目標値とする。	ポイント	成り行き値	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	更なる増加を目指します
						目標値	0.7	1.2	1.2	1.7	
A	青少年の他人に迷惑をかけるという行動が2,3年前と比べて減ったと考える市民の割合	市民意識調査	規範意識の高揚が現代社会の直面している社会的課題であることから、関係機関と連携した児童生徒の校外生活指導を充実するとともに、地域ぐるみで子どもを見守りながら、2017(平成29)年度実績値の約16%(16.3%)から毎年度1.5%改善することを目指す。	%	成り行き値	16.3	16.3	16.3	16.3	16.3	更なる増加を目指します
						目標値	17.5	19.0	20.5	22.0	
B	学習している市民の割合	市民意識調査	学習に参加しやすい環境づくりに努めることで、2017(平成29)年度実績値の54.5%から毎年度0.5%改善することを目指す。	%	成り行き値	54.5	54.5	54.5	54.5	54.5	更なる増加を目指します
						目標値	55.0	55.5	56.0	56.5	
C	住んでいる地域の行事に参加している児童生徒の割合	全国学力、学習状況調査(質問紙調査)	地域社会における異年齢集団での様々な活動を体験することは、子どもたちの生きる力を育てていく上で重要であることから、2016年度実績値の59.1%を基に2018(平成30)年度の目標値を60.5%と設定し、毎年度0.5%の増加を目指す。	%	成り行き値	58.5	58.0	58.0	58.0	58.0	更なる増加を目指します
						目標値	60.5	61.0	61.5	62.0	
D	公民館定期講座申込者に占める新規申込者の割合	18歳以上で教育委員会主催の公民館定期講座に申込をした者の割合	地域社会における異年齢集団での様々な活動を体験することは、子どもたちの生きる力を育てていく上で重要であることから、2016年度実績値の59.1%を基に2018(平成30)年度の目標値を60.5%と設定し、毎年度0.5%の増加を目指す。	%	成り行き値	62.0	62.0	62.0	62.0	62.0	更なる増加を目指します
						目標値	65.0	68.0	71.0	74.0	
E	過去1年間の文化財保存・伝承活動の実践者及び参加者の人数	初午祭、天孫降臨霧島祭、歴史の散歩、山々野ウォーキング、文化少年団、記念講演会等、郷土芸能保存団体活動人数、郷土館入館者	各種刊行物の発行及び広報誌による文化財の紹介、さらに講演会の開催や郷土館等の企画展を通して、文化財に触れたり、伝承活動を実践できたりする環境を整えることで、2016(平成28)年度実績値の10,838人から微増を目指す。	人	成り行き値	10,300	10,100	9,900	9,700	9,500	更なる増加を目指します
						目標値	11,100	11,200	11,300	11,400	
A	芸術文化に親しんでいる市民の割合	市民意識調査	芸術文化団体等と連携し、身近な場所で芸術文化を鑑賞・体験できる機会を提供することや積極的な情報発信により、2017(平成29)年度の現状値53.4%から2022(令和4)年度54.3%を目指す。	%	成り行き値	53.4	53.3	53.2	53.1	53.0	更なる増加を目指します
						目標値	53.6	53.8	54.0	54.2	
B	芸術文化に触れ親しむ環境が整っていると感じる市民の割合	市民意識調査	関係機関と連携し、市民ニーズを踏まえた音楽・演劇等のイベントの開催や優れた芸術に触れる機会の創出等により、2016(平成28)年度の現状値30.4%から2022(令和4)年度31.4%を目指す。	%	成り行き値	30.4	30.3	30.2	30.1	30.0	更なる増加を目指します
						目標値	30.6	30.8	31.0	31.2	
C	芸術文化事業の実践者及び鑑賞者の人数	芸術文化団体(文化協会、少年少女合唱団、神楽振興会等)での活動延人数及び霧島国際音楽祭、美術展、写真展等の鑑賞者数	芸術文化団体等の活動が積極的に行われるよう必要な支援を行うと共に、芸術文化団体等と連携し、発表内容の充実を図ることや積極的なPRに努めることで、現状値101,831人から2022(令和4)年度118,000人を目指す。	人	成り行き値	100,800	100,600	100,400	100,200	100,000	更なる増加を目指します
						目標値	106,000	109,000	112,000	115,000	
D	芸術文化団体に所属している人数	文化協会等に所属している会員数	芸術文化団体等と連携し、市民に興味を持ってもらう取り組みとして、具体的な活動の情報発信やPR活動等による加入促進に努め、2016(平成28)年度現状値2,992人から2022(令和4)年度3,600人を目指す。	人	成り行き値	2,950	2,930	2,910	2,890	2,870	更なる増加を目指します
						目標値	3,200	3,300	3,400	3,500	
E	霧島市民会館来館者数	芸術鑑賞等により市民会館を利用した人数	指定管理者と連携し、自主文化事業のあり方や公演メニュー等、多様化するニーズの変化に対応した取り組みを行い、2016(平成28)年度の現状値63,924人から2022(令和4)年度71,900人を目指す。	人	成り行き値	65,244	65,904	66,564	67,224	67,884	更なる増加を目指します
						目標値	66,500	67,800	69,100	70,500	
A	日頃から運動・スポーツを行っている市民の割合	市民意識調査	健康、体力づくりに関する情報の提供、スポーツに親しみ、スポーツを通じて心身の健康とスポーツの楽しさを体験できる事業の普及・啓発に努めることで、2017(平成29)年度の現状値62.7%から2022(令和4)年度71.5%を目指す。	%	成り行き値	62.7	62.7	62.7	62.7	62.7	更なる増加を目指します
						目標値	64.0	66.0	68.0	70.0	
B	運動・スポーツを行いやすい環境が整っていると思う市民の割合	市民意識調査	スポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を市民が快適に利用できるような年次的に整備し、2017(平成29)年度の現状値51.1%から2022(令和4)年度56.0%を目指す。	%	成り行き値	51.1	51.1	51.1	52.0	52.0	更なる増加を目指します
						目標値	52.0	53.0	54.0	55.0	
C	市内体育施設の年間利用者数	各施設の利用者数実績	各種スポーツ団体と連携し、市民が参加しやすい大会等を増やしていくことで、2016(平成28)年度の現状値921,538人から2022(令和4)年度933,000人を目指す。	人	成り行き値	921,000	921,000	921,000	921,000	921,000	更なる増加を目指します
						目標値	925,000	927,000	929,000	931,000	
D	スポーツキャンプ・スポーツ合宿・大会の誘致団体数	誘致団体等の件数実績	トップレベルのスポーツキャンプや合宿、大規模な競技大会等は、本市のスポーツ振興に大きく寄与することから、引き続き誘致活動を行い、2020(令和4)年度の目標値20団体を目指す。	団体	成り行き値	15	14	14	14	14	更なる増加を目指します
						目標値	20	20	20	20	
E	スポーツ競技団体の加入者数	スポーツ競技団体への加入状況	各種スポーツ団体と連携してスポーツ教室を実施するなど底辺拡大に取り組むことで、2016(平成28)年度の現状値12,043人から2022(令和4)年度12,100人を目指す。	人	成り行き値	12,000	12,000	12,000	12,000	12,000	更なる増加を目指します
						目標値	12,100	12,100	12,100	12,100	
A	まちづくり活動に参加している市民の割合	市民意識調査	2018(平成30)年度の目標値を55%と設定し、毎年、1%ずつの向上を目指す。	%	成り行き値	53.0	53.0	53.0	53.0	53.0	更なる増加を目指します
						目標値	55.0	56.0	57.0	58.0	
B	まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	地区自治公民館、自治会、NPO法人、防犯パトロール隊、社会福祉協議会ボランティアセンター登録団体、きりしま地域人材バンク登録団体の年度末時点の数	2018(平成30)年度の目標値を1,510団体と設定し、毎年、公民館や自治会などを含む、5団体ずつの増加を目指す。	団体	成り行き値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	更なる増加を目指します
						目標値	1,510	1,515	1,520	1,525	

第二次霧島市総合計画前期基本計画の成果指標・進捗管理表

2021年度時点目標達成率(◎数/(◎数+△数)) 30.6%

施策	①成果指標 (意図の達成度を表す指標)	② 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)	③ 2022年度の目標値設定の考え方	◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性		
				単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度
C	まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	地区活性化事業、まちづくり支援事業、市民活動支援事業を活用	特に自治会への周知を年度当初の説明会でしっかりと行うことで、2018(平成30)年度の目標値を610団体と設定し、毎年5団体ずつの増加を目指す。	団体	成り行き値	600	600	600	600	600	更なる増加を目指します
				目標値	610	615	620	625	630		
				実績値	408	419	340	349			
D	国内外の姉妹都市等との交流事業等に参加したのべ人数	本市から派遣された人数、ホームステイを受け入れた人数	2018(平成30)年度の目標値を166人と設定し、毎年3人ずつの増加を目指す。	人	成り行き値	160	160	160	160	160	更なる増加を目指します
				目標値	166	169	172	175	178		
				実績値	220	256	22	52			
E	自治会加入率	自治会管理システムによるデータ(4月1日現在)	2018(平成30)年度の目標値を62%と設定し、毎年2%ずつの増加を目指す。	%	成り行き値	62.0	61.0	60.0	59.0	58.0	更なる増加を目指します
				目標値	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0		
				実績値	60.2	58.0	57.8	56.5			
5-2人権の尊重と男女共同参画の推進	A 日々の生活の中で、身の回りの人権が大事にされていると思う市民の割合	市民意識調査	人権教育・啓発を継続し、日々の生活の中で身の周りの人権が大事にされていると思う市民の増加を目指すこととし、2018(平成30)年度は52.8%を目標値とし、年1ポイントずつの増加を目指す。	%	成り行き値	51.8	51.8	51.8	51.8	51.8	更なる増加を目指します
				目標値	52.8	53.8	54.8	55.8	56.8		
				実績値				59.6			
B	男女の地位の平等感(家庭及び職場において「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合)	市民意識調査	男性・女性の区別なく、「得意なこと・苦手なこと」で役割を任せられ、性別を理由とした固定的な役割分担がなされない社会を目指すこととし、2018(平成30)年度は34.3%を目標値とし、毎年0.6ポイント程度の減少を目指す。	%	成り行き値	34.9	34.9	34.9	34.9	34.9	更なる減少を目指します
				目標値	34.3	33.8	33.2	32.6	32.0		
				実績値				44.4			
C	市が開催する人権にかかわる教育・学習に参加した市民の延べ人数	社会教育課及び市民課の研修会・講演会への参加者数累計	市教育委員会及び市が開催する各種人権教育・啓発関係行事への参加者の増加を目指すこととし、2018(平成30)年度は10,400人を目標値とし、毎年400人ずつの増加を目指す。	人	成り行き値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	更なる増加を目指します
				目標値	10,400	10,800	11,200	11,600	12,000		
				実績値	7,596	6,689	5,638	5,501			
D	審議会等への女性登用率	各年度における平均(システム抽出)	市が設置する各種審議会への女性登用率の増加を目標とし、2018(平成30)年は40%を目標値とし、毎年この目標値が達成できることを目指す。	%	成り行き値	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	更なる増加を目指します
				目標値	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0		
				実績値	30.0	29.9	30.0	29.0			
E	ワーク・ライフ・バランスの推進を行っている企業の割合	企業へのアンケート調査	ワーク・ライフ・バランスの推進に取り組む市内企業の増加を目標とし、2018(平成30)年度は84.4%を目標値として、毎年1ポイント程度の増加を目指す。	%	成り行き値	82.4	82.4	82.4	82.4	82.4	更なる増加を目指します
				目標値	84.4	85.4	86.4	87.4	87.8		
				実績値				88.0			
5-3活力ある地域づくりの推進	A 霧島市に住みたいと思う人の割合	市民意識調査	市民意識調査2017(平成29)年度で78.6%であったことから、2018(平成30)年度の目標値を80%と設定し、毎年0.5%の増加を目指す。	%	成り行き値	78.6	78.6	78.6	78.6	78.6	更なる増加を目指します
				目標値	80.0	80.5	81.0	81.5	82.0		
				実績値				82.2			
B	相談窓口を経た移住者数	移住定住希望者のうち、移住定住窓口への相談を経て移住があった数(支援制度を利用した移住者数を含む)	過去の移住者数の推移を踏まえ、今後も積極的に移住定住関連事業を行うことにより、毎年220人を目標値とする。	人	成り行き値	178	178	178	178	178	更なる増加を目指します
				目標値	220	220	220	220	220		
				実績値	203	314	181	198			
C	移住プロモーションによる相談件数	本市に直接相談(来庁、電話、メール等)及びイベント参加時に相談があった件数	庁内関係課とシティプロモーション推進会議等により情報共有を図り、効果的な移住PR活動に努めることで、毎年550人の相談件数を目標値とする。	人	成り行き値	540	540	540	540	540	更なる増加を目指します
				目標値	550	550	550	550	550		
				実績値	719	595	539	743			
D	転入者数-転出者数	人口動態の中の社会動態の人数(本市への転入者数から転出者数を差引いた人数)	各施策を推進することで、社会動態の人口減少を抑制し、「転入者数-転出者数」が0人となることを目指す。	人	成り行き値	-300	-300	-300	-300	-300	減少の抑制を目指します
				目標値	-200	-150	-100	-50	0		
				実績値	-341	-128	398	341			
5-4市の魅力と価値を高める多角的施策の展開	A 環霧島会議、霧島ジオパーク推進連絡協議会、錦江湾奥会議等広域的な取組の認知度	市民意識調査	2018(平成30)年度の目標値を58%と設定し、年1%ずつの増加を目指す。	%	成り行き値	57.0	57.0	57.0	57.0	57.0	更なる増加を目指します
				目標値	58.0	59.0	60.0	61.0	62.0		
				実績値				64.2			
B	霧島市に住みやすいと感じる市民の割合	市民意識調査	2018(平成30)年度の目標値を78%と設定し、年1%ずつの増加を目指す。	%	成り行き値	77.1	77.1	77.1	77.1	77.1	更なる増加を目指します
				目標値	78.0	79.0	80.0	81.0	82.0		
				実績値				80.9			
C	霧島市に住みたいと感じる市民の割合	市民意識調査	2018(平成30)年度の目標値を79%と設定し、年1%ずつの増加を目指す。	%	成り行き値	78.6	78.6	78.6	78.6	78.6	更なる増加を目指します
				目標値	79.0	80.0	81.0	82.0	83.0		
				実績値				82.2			
D	広域連携により取り組んだ事業数	環霧島会議・錦江湾奥会議で取り組んだ予算を伴う事業数	2018(平成30)年度から2022(令和4)年度まで毎年度9件を目標値とする。	件	成り行き値	6	6	6	6	6	更なる増加を目指します
				目標値	9	9	9	9	9		
				実績値	8	8	3	3			
E	産学官連携により取り組んだ件数	包括連携協定等により、企業等と連携して取り組んだ事業数の累計	2018(平成30)年度については、8件を目標値とし、年1件ずつの増加を目指す。	件	成り行き値	6	6	6	6	6	更なる増加を目指します
				目標値	8	9	10	11	12		
				実績値	9	10	11	25			
6-1市民の視点に立った行政サービスの提供	A 市民の意見や実態が市政に反映されていると認識している市民の割合	市民意識調査	2018(平成30)年度については、25%を目標値とし、年2.5%ずつの増加を目指す。	%	成り行き値	21.9	21.9	21.9	21.9	21.9	更なる増加を目指します
				目標値	25.0	27.5	30.0	32.5	35.0		
				実績値				27.7			
B	市に対する市民の信頼度	市民意識調査	2018(平成30)年度については、56%を目標値とし、年1%ずつの増加を目指す。	%	成り行き値	54.8	54.8	54.8	54.8	54.8	更なる増加を目指します
				目標値	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0		
				実績値				59.5			

第二次霧島市総合計画前期基本計画の成果指標・進捗管理表

2021年度時点目標達成率(◎数/(◎数+△数)) 30.6%

施策	①成果指標 (意図の達成度を表す指標)	② 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)	③ 2022年度の目標値設定の考え方	◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)					目標達成の方向性			
				単位	区分	2018年度	2019年度	2020年度		2021年度	2022年度	
	C	市ホームページのアクセス件数	市ホームページのアクセス件数	2018(平成30)年度については、496,000件を目標値とし、それ以降は年3,500件ずつの増加を目指す。	件	成り行き値	337,503	337,503	337,503	337,503	337,503	更なる増加を目指します
					目標値	496,000	499,500	503,000	506,500	510,000		
					実績値	420,565	528,216	1,064,616	1,516,946			
				達成率	85%	106%	212%	299%				
						結果	△	◎	◎	◎		
	D	公の施設の利用者満足度	指定管理施設利用者アンケート調査実績	2018(平成30)年度については、59%を目標値とし、年1.5%ずつの増加を目指す。	%	成り行き値	57.0	57.0	57.0	57.0	57.0	更なる増加を目指します
					目標値	59.0	60.5	62.0	63.5	65.0		
					実績値	67.0	-	63.2	64.7			
				達成率	114%	-	102%	102%				
						結果	◎	-	◎	◎		
	E	総合計画に掲げた成果指標が目標値を達成した割合	すべての成果指標の目標達成率	2022(令和4)年度の100%達成を目指す。	%	成り行き値	59.0	59.0	59.0	59.0	59.0	更なる増加を目指します
					目標値					100.0		
					実績値					33.0		
				達成率					33%			
						結果				△		
6-2持続可能な財政運営の推進	A	一般財源の歳入額と歳出額の差(当初予算の財政調整基金繰入額)	当初予算の財政調整基金繰入額	収支不足額の改善を図り、毎年度の当初予算編成における財政調整基金繰入額の抑制を図る。	億円	成り行き値	26.63	26.63	26.63	26.63	26.63	更なる減少を目指します
					目標値		19.46	21.27	21.02	17.92		
					実績値	26.63	25.33	29.83	23.95			
				達成率		70%	60%	86%				
						結果		△	△	△		
	B	市債残高	当初予算時点における当該年度末市債残高の見込額	新規の借入額を償還元金以内に抑制することを原則として、市債残高の縮減を図る。	億円	成り行き値	574.81	574.81	574.81	574.81	574.81	更なる減少を目指します
					目標値		553.10	540.24	516.63	511.48		
					実績値	574.81	566.77	551.94	527.56			
				達成率		98%	98%	98%				
						結果		△	△	△		
	C	基金残高(財政調整基金、減債基金、特定建設事業基金の残高合計)	当初予算時点における当該年度末基金残高の見込額 ※各成果指標は、霧島市経費健全化計画(第3次)で掲げた3つの重点事項に基づき設定している。同計画は、2019(令和3)～2021(令和5)年度の3か年計画であるが、2022(令和4)年度の数字は、同計画の財政計画に参考として掲載したものである。なお、同計画では各指標の見込額としており、目標値ではない。 ※2018(平成30)年度は、霧島市経費健全化計画の第2次計画と第3次計画の間の空白年度に当たるため、2018(平成30)年度の目標値は設定していない。	3基金残高は、収支不足額への対応や大規模な普通建設事業費等への活用により、今後は大きく減少する見込であるが、事業の選択と集中による経費削減や歳入の確保に取り組むことで基金の涵養を図る。	億円	成り行き値	135.95	119.86	97.51	75.28	53.58	減少の抑制を目指します
					目標値		122.26	102.71	83.68	66.41		
					実績値	135.95	152.18	143.75	77.89			
				達成率		124%	140%	93%				
						結果		◎	◎	△		